

浄水器「純真水」の販売を開始

ゼオライトを特殊加工 放射性物質を除去

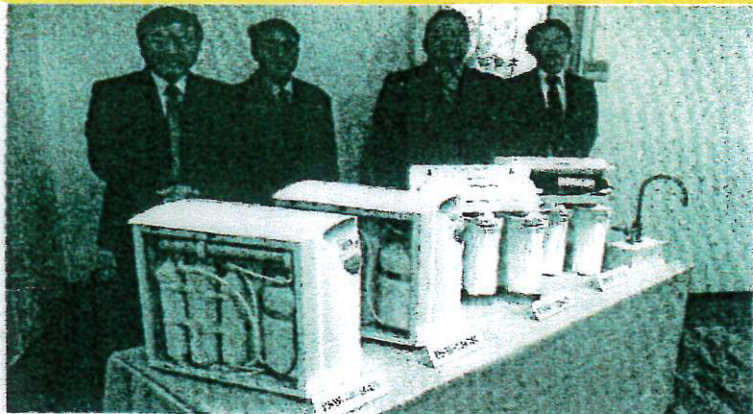
半導体部品を製造するヒュアロンジャパン(本社・好間工業団地、中島秀敏代表取締役社長)は放射性物質を除去する浄水器「純真水」を開発し、27日から発売を開始した。

同社は半導体製造ライオン向けのセラミックガスフィルターで国内シェア90%を誇る。その技術を応用し、放射性物質の吸着特性に注目が集まるゼ

オライトを特殊加工したものと、0.0001ミクロンの超微細孔フィルターを利用し、放射性物質を除去、吸着するという。放射能分析、化学分析などを実施する「化研」(本社・茨城県水戸市)で検査した結果、1日あたり9万9000ベクレルの放射性セシウムを含んだ水を浄水器に通した

ところ、セシウムは検出されなかった。同社は19日、子どもたちへ役立ててもらおうと、なご幼稚園(中野育正園長)へ純真水1台を寄贈した。中島代表取締役は「この浄水器で地域に貢献していきたい」と話しており、今後も市内での寄贈を検討してい

る。純真水は4タイプあり、定価は21万8000〜29万8000円(被ばく地価格は10万9000〜14万9000円)。問い合わせ、申し込みは内郷高坂町の同社環境・開発中央研究所フリーダイヤル(0120)241132まで。



27日から発売が始まった浄水器



浄水器を寄贈する中島代表取締役

賛美歌など歌いクリスマス会

末日聖徒イエス・キリスト教会

末日聖徒イエス・キリスト教会(清水英之いわき支部会長)のクリスマス会が23日、平の同教会で開かれた。

イエス・キリストの生誕を祝う、年に1度のクリスマス会には、いわき

会員のほか千葉県の会員も参加。開会の賛美歌、牧

人羊を」と祈りでスタートし、フルート演奏や千葉県会員でつくる「稲毛ワード」による演劇などが上演された。

その後、賛美歌「聖し

あすまで七宝焼と裂き織り展

あとろえ北山

「手づくりアクセサリ(七宝焼)、裂(さ)き織り展」が28日まで、

平字作町のあとろえ北山

で開と藝と君谷の作してル